

平成 27 年度 第 11 回

宍粟市教育委員会

会 議 録

(要点筆記)

日時 平成 28 年 2 月 17 日 午前 9 時 30 分から

場所 宍粟市役所 401 会議室

第11回（定例）宍粟市教育委員会会議録

1 開会・閉会の年月日時及び場所

平成28年2月17日（水） 午前9時30分 ～ 午前11時20分

兵庫県宍粟市山崎町中広瀬133番地6

宍粟市役所 401会議室

2 会議に出席した者の職氏名

教育委員	西岡章寿	教育長	杉本健三	委員
	弓削ルリコ	委員	田中真人	委員
	金本一二	委員		
事務局	藤原卓郎	教育部長	榎谷米男	教育部次長
	澤田志保	教育総務課長	志水良和	学校教育課課長
	田村純司	こども未来課課長	田路正幸	社会教育課長
	菊元 学	学校給食センター所長 (まちづくり推進部)	橋本 徹	教育総務課副課長
	坂根雅彦	まちづくり推進部長	樽本勝弘	市民協働課長
	富田憲次	次長兼人権推進課長	柴原宏二	人権推進課人権推進係長

3 開会

西岡教育長が開会した。

4 会議の成立宣言

出席者数5名となり、西岡教育長が会議の成立を宣言した。

5 会議録署名委員の指名

(1) 署名委員は、西岡教育長の指名により、次のとおり決定された。

田中委員

6 前回会議録の承認

第10回（定例）宍粟市教育委員会会議録の承認に関する件

前回の定例教育委員会における協議事項、報告事項の会議録について、教育総務課 澤田課長が説明し、承認された。

7 教育長報告

次の4点について西岡教育長が報告した。

(1) 学校規模適性化推進状況について

一宮北中学校区学校規模適正化については、一昨日2月15日開催の第13回協議会ですべての協議項目の調整が終了した。平成24年7月からの地域の委員会にはじまり、平成25年9月から協議会に移行して約2年半にわたって協議いただき、一宮北中学校敷地内での新小学校を併設することとなった。この間、地域関係者、保護者の皆様の真摯な協議や取組に感謝するところです。今後、小中一貫教育についても様々な協議がされるものと思っている。

新小学校の校舎建設工事も順調に進んでおり、内装工事など最終段階に入っている。工期は3月末になっているが、3月15日には3校児童が新小学校へ実際に徒歩やスクールバスでの通学体験をし、下駄箱や教室の位置の確認や開校式・入学式の練習を含めて児童交流を行う予定である。それらも含めてスムーズな就学に向けて準備を進めているところである。開校式は3月5日・6日にそれぞれ開催させていただく。

次に一宮南中学校区学校規模適正化については、新校の校名について476点の応募があり、3月中に開催予定の第5回協議会で校名を決定予定である。

(2) 幼保一元化推進状況等について

幼保一元化について、波賀中学校区地域の委員会が2月9日に開催され、ちくさ杉の子ども園の視察に関する意見交換や、今後の進め方について協議されたが、教育委員会が示す方向性について、現時点では委員の意見がまとまらず、新年度5月頃を目途に委員調整をしながら開催予定である。

一宮北中学校区地域の委員会については、1月29日にちくさ杉の子ども園の視察と意見交換をしていただいた。第5回委員会は2月25日に開催予定である。

一宮南中学校区地域の委員会についても、第4回委員会を2月23日に開催する予定である。

幼稚園・へき地保育所の廃止について、学校規模適正化の実施に併せて保護者・地域から新しい小学校に隣接する幼稚園への通園要望が出され、土万幼稚園・野尻幼稚園は現在休園としているが、両地区からそれぞれ園舎を地域活性化の拠点として使用したい旨の要望が市に提出されており、市としても地域創生を進める観点から園舎の活用を支援していきたいと考えています。また、道谷保育所についても設置場所の旧道谷小学校が地域の活性化拠点として活用の検討がされる中、廃止の協議が地域でなされている。このことについて、本日、2幼稚園とへき地保育所の廃止についてはこのあと議案審議をお願いする。

(3) その他

第11回栄栗市駅伝大会を2月14日（日）山崎スポーツセンターで開催した。あいにくの天候であったが、149チームの出場を得て盛会に終わった。以上である。

8 議事

議事に入る前に、第14号議案から第20号議案は、地方自治法第149条の規定に基づき、地方公共団体の長が担任する事務で、議会の議決を経るべき事件の議案で議会提案前の内容であるこ

と、また第 21 号議案・第 22 号議案は地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 29 条の規定に基づき、歳入歳出予算のうち教育に関する部分で議会の議決を経るべき事件の議案作成において教育委員会の意見を聞くもので、こちらも議会提案前の内容となっており、地方公共団体としての意思形成過程、意思形成の中立性の観点から非公開にしたいと教育長が説明し、審議の結果、全員「異議なし」とし、第 14 号議案から第 22 号議案は、協議報告事項終了後の非公開審議が決定された。

(1) 第11号議案 平成28年度「宍粟の教育」について

平成28年度の宍粟市の教育方針を定める「宍粟の教育」について議決を求めるものであることを、学校教育課 志水課長が説明し、「宍粟の教育」の就学前教育・保育の分野はこども未来課 田村課長が、学校教育の分野は学校教育課 志水課長が、社会教育の分野は社会教育課 田路課長が、説明した。

審議の結果、全員「異議なし」とし決定された。

(2) 第12号議案 宍粟市立土万幼稚園及び野尻幼稚園の廃止について

土万幼稚園・野尻幼稚園について、一定の児童集団の確保による教育効果を活かす観点から休園としているが、両地域から園舎の地域活性化拠点等としての活用要望が出され、市としても地域活性化を支援したいと考えていることから両幼稚園の廃止について議決を求めるものであること、あわせて今後の幼稚園の廃止については、地域で幼保一元化実施の方向性決定、また地域から園舎を地域活性化拠点として活用要望が出た場合、当該地区の幼稚園を廃止する方針について議決を求めるものであることを教育総務課 澤田課長が説明した。

審議の結果、全員「異議なし」とし決定された。

(3) 第13号議案 宍粟市へき地保育所の廃止について

入所児童がなくなった平成23年度から休所としているへき地保育所（道谷保育所）について、一定の児童集団の確保による教育効果を活かす観点、また、旧道谷小学校の跡地活用について地域での活用検討と並行して地域理解のもと市による民間活用・企業誘致等の募集とあわせて行っていることからへき地保育所の廃止について議決を求めるものであることを、教育総務課 澤田課長が説明した。

審議の結果、全員「異議なし」とし決定された。

委員の主な意見及び事務局の説明

(杉本委員)

第 11 号議案「宍粟の教育」については、26 年度から様式がリーフレット形式になり、すっきりとわかりやすくなった。教職員の校内・市内研修用としての活用はもとより、地域住民・保護者へのお知らせ用として活用し、広く知っていただく機会をできるだけ多く設けてほしい。

(学校教育課長)

わかりました。

(田中委員)

宍粟市発足 10 年が経過するが、この間、課題としてきたことも解消されており、第 11 号議案「宍粟の教育」の掲載内容をみても、学校教育、就学前教育・保育では新しい取組があり、社会教育でも内容が充実してきたと感じている。

(教育長)

ありがとうございます。

(金本委員)

第 12 号議案について、園舎跡地活用の支援は市が行うのか、それとも市教育委員会が行うのか、説明をいただきたい。

(教育総務課長)

学校園施設の跡地活用支援は市長部局で行うこととしている。支援内容については例えば他地域での活用事例を紹介して一緒に活用方法を考えたり、また、その活用にあたって、市を含めて様々な助成制度の紹介など、地域の特性に応じた支援を行うこととしている。

9 協議報告事項

(1) 学校規模適正化・幼保一元化推進状況について

資料1「学校規模適正化・幼保一元化推進の状況」により、学校規模適正化について、教育総務課 澤田課長が、幼保一元化について、こども未来課 田村課長が報告した。

(2) 平成28年度 都多幼稚園の運営について

口頭により「平成28年度 都多幼稚園の運営」について、教育総務課 澤田課長が報告した。

(3) 特別支援教育の充実に向けての要望について

口頭により「特別支援教育の充実に向けての要望」について、学校教育課 志水課長が報告した。

(4) 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について

資料2「平成27年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果 宍粟のこどもたちの体力」により、学校教育課 志水課長が報告した。

(5) 幼児教育無償化の段階的取組について

資料3「幼児教育無償化の段階的取組」により、こども未来課 田村課長が報告した。

(6) 学校給食における異物混入の状況について

資料4「平成27年度学校給食センター異物混入状況及び対策」により、学校給食センター 菊元所長が報告した。

(7) その他

①兵庫県立林業大学校（仮称）の設置について

口頭により「兵庫県立林業大学校（仮称）の設置」について、教育総務課 澤田課長が報告した。

②平成27年度 卒業（卒園）式、平成28年度 入学式について

資料5「平成27年度 卒業（卒園）式、平成28年度 入学式」により、学校教育課 志水課長が報告した。

③下三方・三方・繁盛小学校閉校式について

資料6「下三方・三方・繁盛小学校閉校式」により、教育総務課 澤田課長が報告した。

委員の主な意見及び事務局の説明

（弓削委員）

森林大学校の誘致にあたり住居として空き家活用や、改修費用の支援などはあるのか、教えていただきたい。

（教育総務課長）

市として支援を検討することになっているが、具体的な検討は今後行うことにしている。

（金本委員）

千種の認定こども園の運営について、職員も前向きな姿勢で取り組んでいただいております。施設について、実際に使用してはじめてわかることもあり、例えば遊戯室の構造上のこともあるが、声の響きなど気になる点がある。今後の施設整備の時には千種の経験も活かしながら十分に考えてほしい。

（こども未来課長）

今後の施設整備については、設計時に千種での認定こども園での経験を活かして十分に協議をすすめる。千種の認定こども園の音響等については現地で対応も含め確認する。

（弓削委員）

全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果のなかで報告された、休み時間の過ごし方の改善方法について、もう少し説明をいただきたい。

（学校教育課長）

異年齢で班を作って遊んだり、いつでも使えるように備品配置をするなど、細かい部分ではあるが工夫したいと考えている。

10 次回会議の招集について

平成28年3月15日（火）午前9時30分から、平成27年度第12回宍粟市教育委員会を宍粟市役所402会議室で開催すると決定した。

11 閉会

杉本委員が閉会した。

以上 午前 11 時 20 分終了